

心臓 CT 由来細胞外容積分画 (CT-ECV) を用いた ATTR-CM 診断補助の有用性に関する後ろ向き観察研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

ATTR-CM（トランスサイレチン型心アミロイドーシス）は、早期診断と適切な治療介入が重要な疾患ですが、従来の臨床情報や画像所見のみでは診断が難しい場合があります。近年、心臓 CT 由来細胞外容積分画（CT-ECV）は心筋のびまん性細胞外容積拡大を反映する指標として注目されており、ATTR-CM 診断の補助指標となる可能性があると言われております。

本研究では、当院で心臓 CT 検査の際に CT-ECV を評価した患者さんを対象として、診療記録から得られる情報を収集し、CT-ECV が臨床指標に追加されることで ATTR-CM の識別能を改善するか、また独立した診断補助指標となり得るかを検討します。さらに、偽陽性・偽陰性症例の背景因子や、造影条件・撮影条件・ROI 設定などの影響についても検討します。

この研究で用いるのは、通常診療の過程で得られた既存の診療情報および画像情報のみであり、新たな検査、撮影、採血、アンケート等をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2024 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに、当院で心臓 CT から CT-ECV を評価した方

使用する試料・情報

基本情報：年齢、性別、身長、体重

血液検査：Troponin I、BNP、NT-proBNP、Hct、BUN、Cr、eGFR、HbA1c など

心エコー関連：LVEF、LVDD、LVDs、IVSTd、LVPWTd、LV EDV、LV ESD、TMF E、MV E/A、Sept E/e'、LAD、LA volume、LAVI、TR peak V、TR peak PG、RAP、RVSP、PASP など

弁膜症評価：AR、AS、MR、MS、TR の重症度

臨床情報：心不全入院歴、NYHA 分類、整形疾患既往（手根管症候群、脊柱管狭窄症など）

核医学・病理関連：PYP シンチ Grade、PYP H/CL、病理結果

CT 関連：CT-ECV、造影条件、撮影条件、ROI 設定などの画像再解析情報

使用開始予定日：2026 年 5 月 7 日

研究予定期間

2026 年 5 月 7 日～2028 年 12 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 中央放射線部 米須 大樹

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 中央放射線部 米須 大樹 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	---